

撥水風呂敷の実力は

社内テストのご報告_1

丸和商業株式会社

2025 年 1 月 24 日

作成者: 丸和商業株式会社

撥水風呂敷の実力は

社内テストのご報告_1

目的

風呂敷の撥水能力について、一般的な試験による等級では素人にはよくわからないことがある。丸和商業が取り扱う撥水風呂敷について簡単な実験を社内で行い、その結果を公表することでお客様に少しでも安心してお使いいただければと思う。

ただしこの実験は科学的な根拠に基づくものではなく、素人が思いついたレベルでの実験であることと、又諸条件により違った結果も当然出てくること前提にある。

今回は撥水生地への液体の浸透の様子を調べてみた。

実験 1

● 実験方法

浸透した液体が付着するように白の木綿生地を置き、その上に約 10cm 角の撥水生地を置き、そこに 5ml（小さじ 1）の液体を垂らし、時間経過とともに下の生地への浸透の様子を観察した。

使用する液体

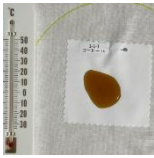
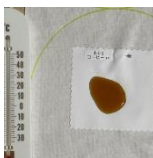
1. コーヒー
2. しょう油
3. サラダ油



● 実験結果

➤ 実験 1-1

液体：コーヒー

経過時間	0 時間		1 時間	8 時間	2 4 時間	4 5 時間
試験片 番号			1-1-1	1-1-2	1-1-3	1-1-4
1-1-1		液体あり				
1-1-2		液体払拭				
1-1-3		下生地確認				
1-1-4		結果	浸透無し	浸透無し	浸透無し	浸透無し

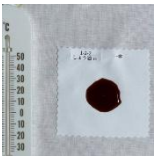
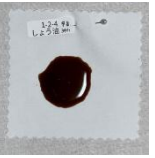
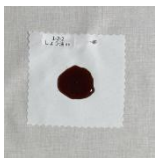
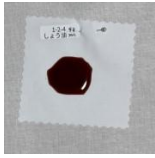
■ 試験実施日 2025 年 1 月 7 日 10 時 24 分 AM～ 1 月 9 日 7 時 44 分 AM

■ 環境 丸和商業事務所 3 階（エアコン等不使用・日光の影響なし）
室温 8～12 度（夜間不明）

■ 結果 試験片 1-1-1 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ無し
試験片 1-1-2 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ極薄
試験片 1-1-3 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ極薄
試験片 1-1-4 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ薄

➤ 実験 1-2

液体：しょう油

経過時間	0 時間		1 時間	8 時間	2 4 時間	4 5 時間
試験片 番号			1-2-1	1-2-2	1-2-3	1-2-4
1-2-1		液体あり				
1-2-2		液体払拭				
1-2-3		下生地確認				
1-2-4		結果	浸透無し	浸透無し	浸透無し	浸透無し

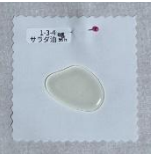
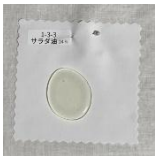
■ 試験実施日 2025 年 1 月 7 日 10 時 24 分 AM～ 1 月 9 日 7 時 42 分 AM

■ 環境 丸和商業事務所 3 階（エアコン等不使用・日光の影響なし）
室温 8～12 度（夜間不明）

■ 結果 試験片 1-2-1 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ極薄
試験片 1-2-2 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ極薄
試験片 1-2-3 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ極薄
試験片 1-2-4 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ薄

➤ 実験 1-3

液体：サラダ油

経過時間	0 時間		1 時間	8 時間	2 2 時間	4 5 時間
試験片 番号			1-3-1	1-3-2	1-3-3	1-3-4
1-3-1		液体あり				
1-3-2		液体払拭				
1-3-3		下生地確認				
1-3-4		結果	浸透無し	浸透無し	浸透無し	浸透無し

■ 試験実施日 2025 年 1 月 8 日 10 時 52 分 AM～ 1 月 10 日 10 時 50 分 AM

■ 環境 丸和商業事務所 3 階（エアコン等不使用・日光の影響なし）
室温 8～12 度（夜間不明）

■ 結果 試験片 1-3-1 木綿生地に付着有り・撥水生地にシミ有りし
試験片 1-3-2 木綿生地に付着無し・撥水生地にシミ薄
試験片 1-3-3 木綿生地に付着有り・撥水生地にシミ薄
試験片 1-3-4 木綿生地に付着有り・撥水生地にシミ有り

実験 2

● 実験方法

70cm 角の撥水風呂敷を四つ結びし、その中に 200ml の水を入れて吊るした状態で、下に落ちる水の量を計測した。



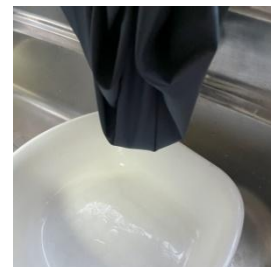
● 実験結果



90 分



16 時間



- 試験実施日 2025 年 1 月 13 日 15 時 05 分～ 1 月 14 日 07 時 15 分 AM
- 環境 丸和商業事務所 3 階（エアコン等不使用・日光の影響なし）
室温 2 度（夜間不明）
- 結果 90 分、16 時間共に浸透による水は確認できず。
生地には水の入った面から反対面まで生地皺に沿ったシミあり。

考察

実験 1 と実験 2 において、経過時間内ではどの場合も液体の生地からの浸透は確認できなかった。試験片 1-3-1 サラダ油の試験結果においては浸透して下の生地までサラダ油が付着したが、これは時間経過時にサラダ油を拭きとる際に浸透したものであって、拭き取る前には浸透は認められなかった。実験 1 の全ての試験片について経過時間後にキッチンペーパーで液を拭きとったが、コーヒーとしょう油はキッチンペーパーが液を吸ったので、撥水生地を軽くふく程度であったが、サラダ油はキッチンペーパーでは十分に吸い取れなかったため、他の物より力を入れて拭き取った結果生地に浸透して下の生地にも油が付着した。試験片 1-3-2, 1-3-3, 1-3-4 は 1-3-1 を踏まえて時間経過後撥水生地上のサラダ油を横に置いたキッチンペーパーに滑らしてある程度除去してから拭き取った。1-3-2 の下の布に油が付着しているのは上手く滑らすことが出来ず、生地に流れたためである。

今回の実験から、撥水生地上に液体があるだけの状態では生地への液体の浸透は無いものと思われる。しかしながら液体に力が加わると浸透する。実験 2 の終了時に風呂敷上部から絞ったところ、大半の水は生地からしみだした。液体に力を加えた時、油の方が水より浸透しやすいと思われる。

撥水風呂敷をお使いいただくにあたり

撥水風呂敷をお使いいただくにあたり、簡単な雨除けとしては問題ないと思いますが、本格的な雨などでは水が染みることが想定される。

弁当包みなど食品を包む場合は、容器からこぼれ出る汁などに対してはある程度外へ漏れることを防げられると思われるが、そのまま放置されると生地が湿ったり、場合によっては染み出てくることが予想される。また汁に何らかの力が加わったり、油を多く含む物などの場合は多く染みだす可能性が高くなると考えられる。

濡れたものを包む時は、濡れている程度にもよるが、ある程度は機能を発揮すると思われる。ただし長時間そのままにされると、生地が湿ってくるものと思われる。

商品選考の一助になれば幸いです。